

感染状況・医療提供体制の分析(8月10日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (8月3日時点)	現在の数値 (8月10日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	17301人 (921.8人)	20129人 (1072.4人)	→	感染状況コメント レベル5. 感染が広範囲に拡大しており最大限の警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり1072人</u> と増加し、60歳以上が占める割合も更に増加。陽性者の急増から遅れて、重症者・死亡者も増加。 これまでで最も高い感染レベル。移動が多くなる時期となり、今後も陽性者増加が見込まれる。個人で行える感染対策を再強化し、高齢者等重症化リスクの高い方を守る行動を。動画をご覧ください。 「岡山県の医療を守るために、 県民のみなさんをお願いしたいこと」 https://bit.ly/3zH60EA
		60歳以上 (総数に占める割合)	2419人 (14%)	3294人 (16%)	→	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	9454人	10480人	→	
		県南西部	5677人	6823人	→	
		高梁・新見	254人	294人	→	
		真庭	309人	446人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	3208人 (調査中・未確定者を除く)	2235人 (調査中・未確定者を除く)	
割合 (③/①)			54.1% (調査中・未確定者を除く)	52.4% (調査中・未確定者を除く)		
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	298人 (54%)	350人 (60%)	→	医療提供体制コメント レベル5. 体制が極度に逼迫していると思われる 確保病床における入院割合は60%を超えた。発熱外来や救急医療は逼迫。医療機関でのクラスター、また医療従事者の感染や濃厚接触による自宅待機も増加し、手術制限など通常医療の提供が困難に。高齢者の感染者増加により、今後逼迫状態が悪化すると予想。	
	⑤宿泊療養者数	145人	167人	→		
	⑥自宅療養者数	15273人	20352人	→		
	⑦重症者数	7人	11人	→		

